

令和7年度 第2回 萩丘小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年9月4日（木）14時30分～16時45分
- 2 開催場所 萩丘小学校 会議室
- 3 出席議員 鈴木 莞爾、森 健、長谷 昭浩、岡本 護、大橋 邦久、渡邊 貴子、
増崎 桂、門奈 正洋
- 4 欠席委員 北田 由美
- 5 オブザーバー 鈴木 克隆（北部協働センター）
- 6 学校 須藤 邦夫（校長）、中村 隆紀（教頭）、大村 直弘（主幹）、加藤 竜男（CS
担当教員）、鈴木 かおり（CSディレクター）
- 7 教育委員会 山本 美世絵（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 鈴木 かおり
- 10 議長選出 司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、出席した委員か
ら長谷委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。
- 11 協議会
 - （1）一学期教育課程振り返りについて
 - （2）何でも相談カードについて（児童のアンケート結果）
 - （3）支援策の具体化（スタサポの関わり方について）
- 12 会議記録 委員 8名出席があり、過半数に達しているため会議成立している旨の報
告があった。

【協議事項】

- （1）一学期教育課程振り返りについて

主幹より日課表に基づき説明があった。水曜日は40分の短縮授業とし下校時間を早めて

いる。短縮分は水、金曜日のモジュールで補っている。児童の体調、欠席状況の改善。職員も落ち着いて業務でき会議に時間を充てることもできる。

運動会の5月開催への変更についても前向きな意見が多く来年度も同様に考えている。

(2) 何でも相談カードについて

CS担当教員よりいじめアンケート結果について資料を基づき説明があった。9月25日学校公開日でも座談会を開き説明予定。アンケート結果は去年と比較して90%超100%もあり授業も学校生活も楽しいという結果。にこにこほほえみが特に上がってきている。同じ児童の変化においても6年生が上がってきている。(過去のデーターでもこれ程の上りはない) 運動会5月開催の効果があったのでは。6年教員が行事のたびに寄り添い、話を聞き活動したのがおおきいのは。アンケートに何も書いてなくても一人一人話をし、丁寧に対応している。

* データー的に2年生が下がるのは、そういう学年なのか。(渡邊委員)

・ 1年から2年に上がると自分でやらなきゃいけない、頑張らなきゃいけないことが増える。同じ階で1年生への手厚いケアを目の当たりにしているのも原因かも。(CS担当教員)

* 悪口や叩かれたりするの、2年生が多いのは。(渡邊委員)

・ 正直に言ってもらえるとありがたい。本当は3年生ももっとあると思っている。丁寧に対応していきたい。(CS担当教員)

* 市内全体のデーターはないのか。(長谷委員)

・ 萩丘小独自のものなのでない。(CS担当教員)

・ 全学年90%以上は他の学校ではあまりない。100%はほとんどない。(教頭)

* 自分の体験より、心と言葉、態度が違う子がいる。思春期で100%はあり得ない気がする。自我が出て反発心が出てこないのか。(門奈委員)

・ 100%は信用していないが、対応する中で自分は悪く取っていない。他校に比べ萩丘小の子は向かってきてくれる。(CS担当教員)

* 数値的にみて心配になる。もっと自分を出した方がいいのでは。(門奈委員)

・ 良いところを紹介したいと思っている。議論できる提案ができたと思う。(CS担当教員)

* アンケートは学校に来ている子だけが対象か。(鈴木委員)

・ 残念ながらそうだ。6月実施。(CS担当教員)

* 今年の運動会はよかった。子どもの動きが生き生きしていた。自分たちで作ろう、思いを表現しようという姿が楽しさを生んだのでは。6年生はリーダーになってすぐ行事があり活躍の場面があったからでは。アンケートの取り方で結果は変わる。トラブル発生件数で比べるといいのでは。(大橋委員)

* 子どもの本当の気持ちを表せているのか。(長谷委員)

・ 100%とはいえ不登校の子のデーターは取れていない。萩丘小は他校に比べ表現できてい

る方だ。自分の気持ちを表現できる子のデーターだ。問題傾向（いじめ、遅刻、保護者苦情等）は減ってきている。我々だけでなく地域、保護者の頑張りが現れている。地域と共有して意見をいただきたい。（校長）

（３） 支援策の具体化

増崎委員より資料に基づき萩丘サポーターズクラブ活動報告があった。

スタサポでは萩丘小の歴史について鈴木委員、門奈委員、増崎委員が講師を務める。お茶の淹れ方講座では「まるい茶舗」鈴木さんの協力で授業を行う。今年度、初めて交通教室（安全見守り、活動補助）を実施。スタサポ開始当初は、何をすべきかわからない方も多かったが、スタサポさん同士、連携しフォローする場面が増えてきた。ただサポートに入るだけではなくスタサポさん自身が何かを得られる活動が増えていくと嬉しい。

今年度よりボランティア募集をさくら連絡網で行っている。平等に情報が送れ、応募も確実に受け取れるが不慣れな部分も多く改善が必要。

この夏からグリーンズ活動（花壇、萩トープなどの草取りボランティア）を開始した。今後、保護者や地域へと募集を拡大していく予定。

ものづくりサポーターでは学校、くすのき協力のもと節句行事（鯉のぼり）、七夕には笹を各昇降口に飾ることができた。七夕の短冊はただ飾ることを目的としておらず子どもたちの今思うこと、願うことを知る機会になる。可能な限り続けていきたい。

* 1年生は初め一人で帰れない子がいる。今まで教師だけで下校サポートしていたが地域、保護者の方が来てくれて安心して指導できた。アンケートでも参加してよかったと感想もあり、ありがたかった。グリーンズの活動（草取り）のおかげでビオトープでの子どもたちの生活科、理科の授業も安心安全に活動できた。（教頭）

* くすのきさんもいろいろやってくれている。紹介を。（校長）

・七夕の笹とり、昇降口の傘立てのペンキ塗装、自然を生かしながらのビオトープの草取り、側溝清掃など。（門奈委員）

* ボランティア人数が少なくて厳しいのでは。（長谷委員）

・シャワーズは夏場 朝 夕 2 回のため負担が大きくなる。希望をとり毎日同じ人にならないようスケジュール調整しようと思うが夕方は希望者が少なく厳しい。スタサポは直接授業に入り子どもたち、先生方と対面し感謝を伝えられ それを受けまた参加しようと思ってくれる人が多いが、グリーンズ、シャワーズは見えない会えないボランティア活動になってしまっている可能性がある。今後どのようにコミュニケーションをとり活動していったらいいか意見をいただきたい。（増崎委員）

・誰もいない学校に来てやるのも寂しい。（長谷委員）

・子どもと野菜の水やりを楽しみに来てくれる方もいるが。（増崎委員）

* 七夕の短冊の願いは毎年確認している。大半は家族、世界の平和を願うものだが、ごくまれに先生と共有すべき内容が出てくる。子どもが本当の素直な願いを書く場のため学校

も把握してほしい。(渡邊委員)

- ・今年度は4件ほど心配な内容があり担任と共有した。(CS担当教員)
- ・協議会の皆さんとも共有したい。(渡邊委員)

(4) その他

今年は異常な暑さ。学校でもいろいろな暑さ対策しているが家庭ではそれが見えておらず不安を感じている場合がある。もっと情報を開示し共有していきたい。他にも開示したい内容があれば意見をいただきたい。(教頭)

*PTAからの活動報告は。(長谷委員)

- ・PTA総会、運動会の手伝いと大きな変化はない。(森会長)
- *PTA活動が薄くなってきているというが、どうなっているか。(長谷委員)
- ・自ら希望する人はいないが選出された方は積極的にやっている。今後、人数は減らしていきたい。できる範囲内での活動にしていきたい。(森会長)
- ・PTAには存続して欲しい。(長谷委員)
- ・大掃除ボランティアでも協力していただいた(教頭)
- ・親子作品展も行っている。PTAが他の学校でなくなっていくなか組織を変えていかないといけないと話している。来年度から新しい組織で活動できるよう本来はPTA総会で可決しなければいけないが、それでは遅いので紙面上で提案し進めていきたい。誰にでもできると思える組織にしていきたい。(校長)
- *コロナが流行っているようだがどうか。(岡本委員)
- ・ぼちぼち出てきているようだがほとんど聞かない。(校長)

司会から次回会議は、令和7年11月17日(月)14時30分から会議室で開催する旨の報告があった。